リージョナル・イノベーションセンター

HIRAYAMA SHIN

シニア リサーチ・アドミニストレーター



「URA 創出型プロジェクト研究テーマの提唱」 「戦略的知財活動の実施」

[キーワード] 地域貢献,プロジェクト型研究テーマ,学際性,ビジネスモデルの提案



地域に根差した学際的研究の立案と戦略的知財活動を推進します

活動紹介

◆取組みの概要

佐賀大学 URA は、本学の研究成果を地域・社会に還元 し持続的な振興に貢献することをミッションに掲げます。

◆URA が目指す方向性

本学 URA は研究の立案時の支援と共に、地域企業が求めるプロジェクト型研究テーマを立案し、それらの成果を知的財産として管理する業務を遂行します。

まず、本学が保有する技術分野を俯瞰的に整理し、地域社会(企業・団体等)との交流を進めると共に、要望が高い以下の6つを主なターゲットに掲げ、研究テーマを立案していきます。

- ①地域の文化・教育を支える技術
- ②低コスト型インフラ整備技術
- ③持続可能なエネルギー・有価物の生産技術
- ④健康長寿社会貢献技術
- ⑤地域産業を支える技術
- ⑥環境貢献技術(有明海等環境改善技術)

◆URA の取組み計画

本学 URA は競争的資金獲得に向けた企画提案書の作成に関し支援を行います。地域企業との情報共有の中でニーズの高いテーマを選別し、学際的なプロジェクト型研究テーマについて学内コンセンサスを得つつ立案していきます。また、研究テーマ立案時には知財情報を予め把握し、知財戦略を含む計画を提唱していきます。

◆今後の展開 1

芸術地域デザイン学部設立と共に有田・伊万里焼等の 支援として期待がかかる肥前セラミック研究センターと のコラボや,地方創生に向けた各自治体構想と連携した 実装化の可能性を有する研究テーマの立案等を手掛け, ビジネスモデルに寄与していきます. また、地域社会科学分野や芸術分野は本学の特徴でもあり、これらのコラボした学際性の高い分野の研究支援や医学と農学などの安心安全な健康長寿のテーマ等も展開していきたいと考えています。

◆今後の展開2

現在、本学では約420件の特許出願と約210件の登録特許を保有しており、出願件数当たりの登録率は国立大学法人ではトップクラスにあります。特許の有効活用の観点から、これらの棚卸、知財戦略の構築・支援、及び知財教育の立案等についても取組んでいきます。

これまで本学の知財活動は JST 等の国の支援をベース に展開されてきましたが、これらの支援が減少する中、知 財戦略の見直しが必要になっています。そこで本学は新た な知財戦略を構築し「群としての特許」、「顕現性のある特 許」、「活用可能性の高い特許」等であることを指標にする 実装化を想定した支援を実施します。手戻りの少ない業務 の変更などを提案することによって、効率的且つ有効性を 持つ知財活動を行います。特に、これらの活動そのものが、 実践的な知財教育に直結するものとの想いもあり、本学独 自の新たな知財活動となるよう展開していきます。

一方,首都圏に国内の特許事務所の60%以上が存在し、近畿圏を合わせると、80%以上が両地域に偏在しています。そのため九州,特に佐賀地域では、企業での知財相談が身近に行える環境とは言い難い側面がありました。その点、本学URAには、大手企業で数百件の知財を指導・助言した経験を有するメンバーも揃えたことから、知財相談を容易に受けることができる体制となりました。そのため、佐賀地域の企業で技術開発に伴う知財の相談事項が生じましたら、お気軽に声をお掛け頂ければと思います。

掲載情報 2018年2月現在

企業の皆様へ 一言アピール 技術課題や新たな研究テーマを模索されている、または、当該技術に係る周辺特許の情報についてのご相談など、気軽に本 URA 部門にお問合せください。

(お問い合せ先) 国立大学法人 佐賀大学 リージョナル・イノベーションセンター TEL: 0952-28-8961 E-mail: suric@ml.cc.saga-u.ac.jp